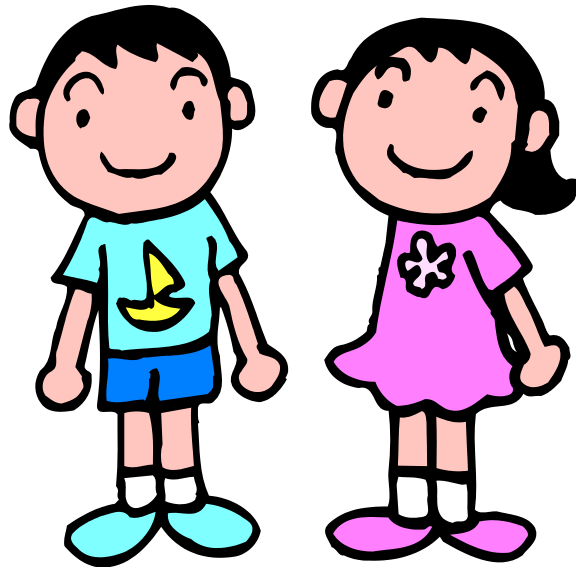


# 福祉教育体験学習メニューブック



社会福祉法人 宗像市社会福祉協議会

# 福祉体験メニュー

## ■ 目の不自由な人の体験(視覚障がい)

- ・アイマスク体験 ……3 ページ
- ・点字体験 ……3 ページ
- ・音訳体験 ……4 ページ

## ■ 足の不自由な人の体験(下肢障がい)

- ・車いす体験 ……4 ページ

## ■ 耳の不自由な人の体験(聴覚障がい)

- ・手話体験 ……5 ページ
- ・モコ体験 ……5 ページ

## ■ 高齢者の体験・学習

- ・高齢者疑似体験 ……6 ページ
- ・認知症サポーター養成講座 ……6 ページ

## ■ 福祉用具等貸出し ……7 ページ

- ・車いす
- ・白杖
- ・簡易点字ブロック
- ・高齢者疑似体験セット

## ■ 目の不自由な人の体験（視覚障がい）

### アイマスク体験



視覚障がいとは、視覚機能に何らかの障がいのある状態をいいます。

視覚障がい=全く見えない(全盲)というイメージがあるかと思いますが、視覚障がいには、大きく

(1)盲⇒全く見えない、または視力が限りなく「0」に近い状態です。

(2)弱視⇒視覚による日常生活が不自由な状態です。

アイマスク体験では、全く見えない時の体験をし、体験を通じて目の不自由な人の立場やお手伝い(手引き)の仕方を学習します。

■ 指導:宗像市社会福祉協議会

■ 協力:ガイドボランティア「アイフレンド」)

### 点字体験

「点字について」「点訳をするときのルールや約束ごと」「身近なところにある点字」などの説明を聞いたり、点字板や簡易点字板(懐中定規)を使って、点字を打つ体験をします。

■ 指導:点訳ボランティア「てんとうむし」





## 音訳体験

目の不自由な方の中には、点字が読めない人もたくさんいます。点字以外の情報収集手段として、文字(墨字)を CD-R やテープに録音する「音訳」が利用されています。

目の不自由な人への文字(墨字)の伝え方と、聞きやすい・分かりやすい伝え方の学習をします。

- 指導: 音訳サポーター  
声の広報ボランティア



## ■ 足の不自由な人の体験 (下肢障がい)

### 車いす体験

車いすの部位の説明や、使い方、地域で困っている人を見かけたときのお手伝い(介助)の仕方、また「車いすは、道具ではなくその人の足の代わり」など、車いすの体験を通じて、車いすに乗っている人の立場を理解するとともに、車いすを利用している人のお手伝いの方法について学習します。

- 指導: 宗像市社会福祉協議会



## ■ 耳の不自由な人の体験（聴覚障がい）

### 手話体験

「聞こえないということはどういうことなのか?」「聞こえない人はどのような生活をしているのか?」「伝える気持ちの大切さ」など、耳の不自由な人やボランティアさんから話を聞いたり、名前やあいさつなど、簡単な手話を体験します。



- 指導:手話サークル「シュワッチ」・  
玄海手話サークル「ゆび」



### モコ体験

音のない世界を体験する学習の一つとしてモコ体験ゲームがあります。

声を出すことは禁止です。病院やレストランを想定した体験コーナーに、手話で質問され、相手にどう伝えたらいいのかということを学習します。

手話学習の導入として有効な学習です。

- 指導:手話サークル「シュワッチ」



## ■ 高齢者の体験

### 高齢者疑似体験

高齢にともなう身体の変化や、高齢者の特性、脳や心の変化などの話と、高齢者疑似体験セットを着用した体験を通して、高齢者の身体や気持ち、日常生活の不便などを学習します。

■ 指導:宗像市社会福祉協議会



### 認知症サポーター養成講座

「認知症」は誰にも起こりうる脳の病気で、85歳以上の4人のうち1人にその症状があるといわれていますが、地域のみなさんの暖かい見守りや協力があれば、安心して生活を送ることができます。

“ビデオ”や“かみしばい”で認知症を正しく理解してもらい、そのうえで“自分のできることはなにか”を考えていきます。

■ 指導:宗像市社会福祉協議会



## ■ 福祉用具等貸出し

・車いす



・白杖



・簡易点字ブロック



・高齢者疑似体験セット



◆申込み・問合せ先◆

社会福祉法人

宗像市社会福祉協議会

総務福祉課 地域福祉係

宗像市久原 180 番地 メイトム宗像内

☎0940-37-1300 FAX0940-37-1393